

Plasm Network JBA定例

Date: Feb 24th 2021

Sota Watanabe | sota@stake.co.jp

免責

本資料は暗号資産への投資を勧誘するものではなく、暗号資産を解説するものでもありません。また今回の内容で解説される例は国際的にも前例が少なく法的なスキーム等については専門家に相談してください。

パブリックブロックチェーン企業:パブリックブロックチェーンの上にプロダクトを作る企業もしくはパブリックブロックチェーン自体を作る企業



PLASM

自己紹介



渡辺創太

Stake Technologies株式会社代表取締役 CEO

Web3.0の実現を目指し日本発となるパブリックブロックチェーンであるPlasm Network、Shiden Networkを創っている

元々シリコンバレーのブロックチェーンスタートアップ(2017,2018)、東京大学大学院ブロックチェーン共同研究員(2019)、2019年会社設立、内閣府Trusted Webタスクフォースメンバー

Twitter: @WatanabeSota @Sota_Web3



PLASM

本日のテーマ

パブリックブロックチェーンで日本人は世界でどう戦っていけるのか？





そもそもの背景

- パブリックブロックチェーンという領域で日本企業の遅れ
- 評論家は多いがプレイヤーの少なさ
- プレイヤーの数もこの2年で増えている実感がない
- 世界トップはDXなんて言ってない。なぜならば既に完了しているから
- 制度以前に自分も含めたプレイヤーのレベル



PLASM

日本の遅れ

#	通貨	Symbol	価格	1H	24H	7D	30D	24H取引高	循環供給量	総供給量	時価総額
1	 ビットコイン	BTC	\$57,044.10	0.5%	2.2%	21.7%	84.8%	\$74,052,569,415	18,634,468	21 百万	\$1,062,986,456,039
2	 イーサリアム	ETH	\$1,956.80	0.1%	-3.8%	7.7%	73.6%	\$41,987,051,548	114,758,016	∞	\$224,757,503,149
3	 バイナンスコイン	BNB	\$265.85	0.6%	-10.6%	98.7%	583.2%	\$12,390,630,544	154,533,652	171 百万	\$41,102,536,495
4	 ポルカドット	DOT	\$39.36	2.1%	3.9%	40.3%	145.1%	\$4,506,901,243	964,770,855	1.05 十億	\$37,688,610,005

パブリックブロックチェーン Top 3 (Bitcoin, Ethereum, Polkadot) において各エコシステムにおいて Top10 プロジェクトに入っており実際にトラクションのある日本発のプロジェクトはほぼいない。(財団サイトで第1線に張っていらっしゃる方は数名いる。)

中国では国家主導でブロックチェーンを戦略的にやっていたり(パブリックではないが)、アメリカは政府が認可した銀行はステーブルコインの発行者に対してサービスを提供したり、ステーブルコインのための準備金を保管可能。(こちら側は今日は話さない)



Plasm Networkのこれまで

- Polkadotの開発をリードする財団である Web3 Foundation から世界最多となる6回の助成金を獲得
- PolkadotのTestnetに世界初接続に成功
- PolkadotのTestnet上で初めてスマートコントラクトをデプロイ成功
- PolkadotのTestnet上で初めてPolkadotに接続している2つの異なるチェーン間でクロスチェーンのメッセージ送受信に成功
- Binance, HashKey等がインベストメントを通して Plasm Networkに参加



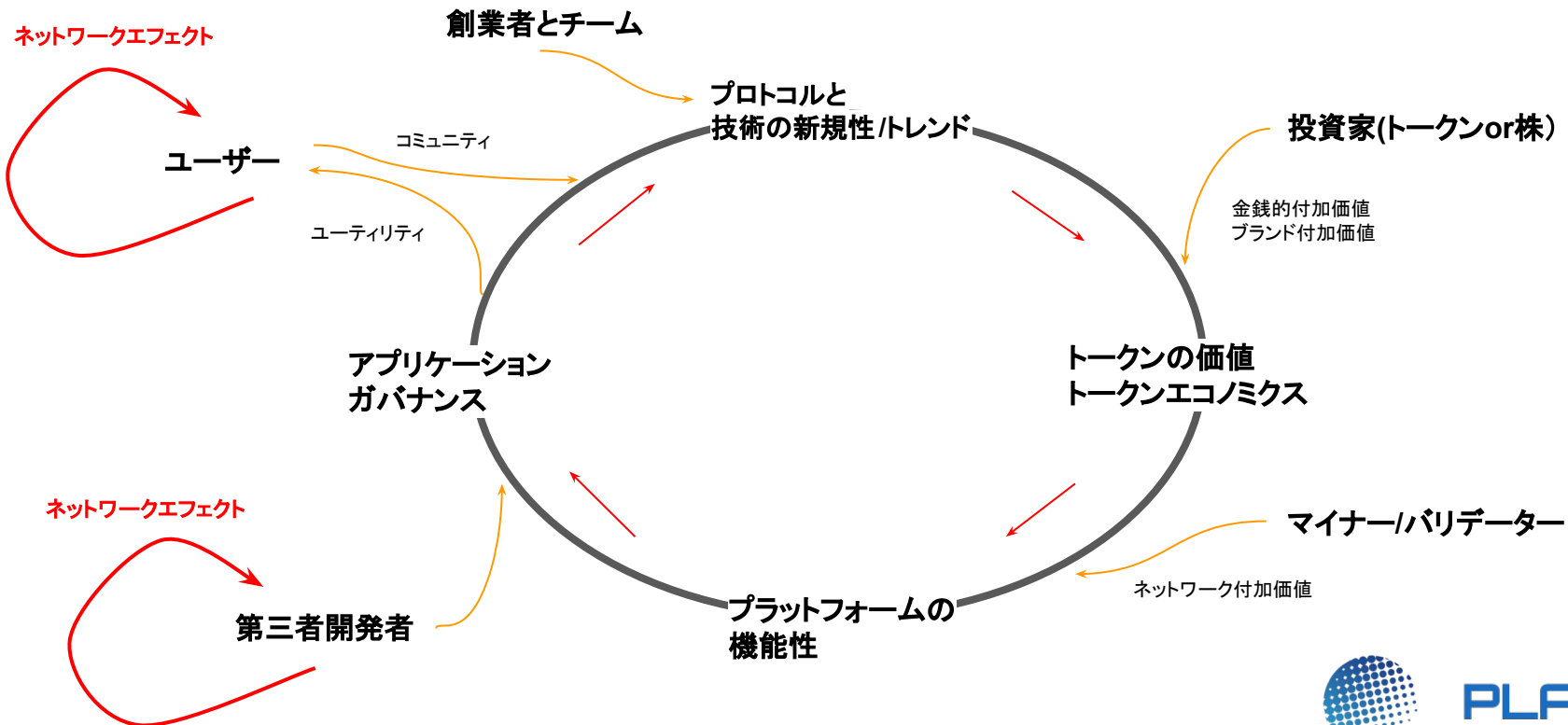
project supported by
web3 foundation
grants program



PLASM

パブリックブロックチェーン の戦略と戦術

パブリックブロックチェーン上での価値の作り方

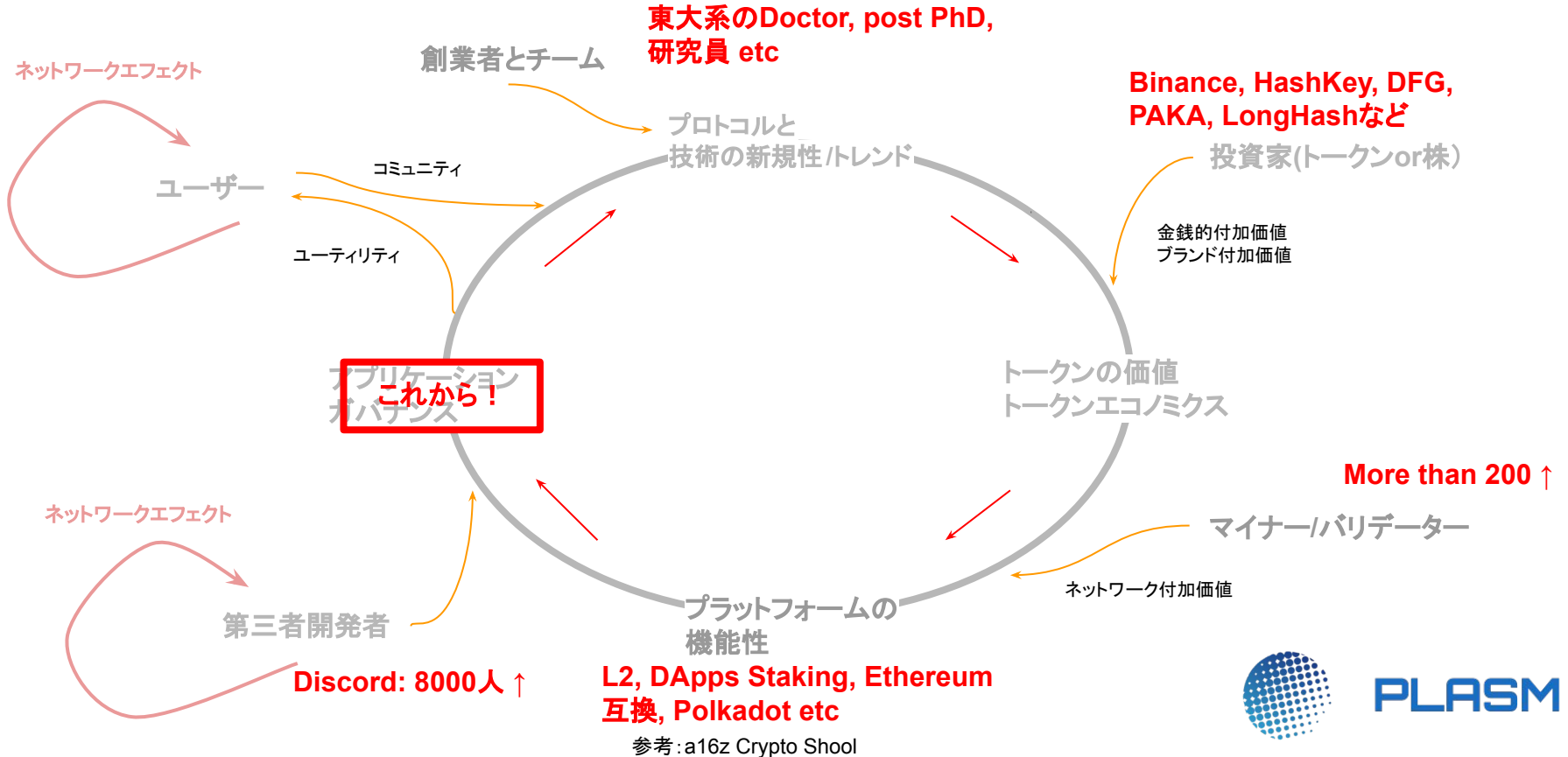


参考: a16z Crypto Shool



PLASM

Plasm Networkの場合



順を追って



PLASM

会社の初め方

IPO

OR

M&A



PLASM

会社の初め方

そもそもどこを目指すのか？

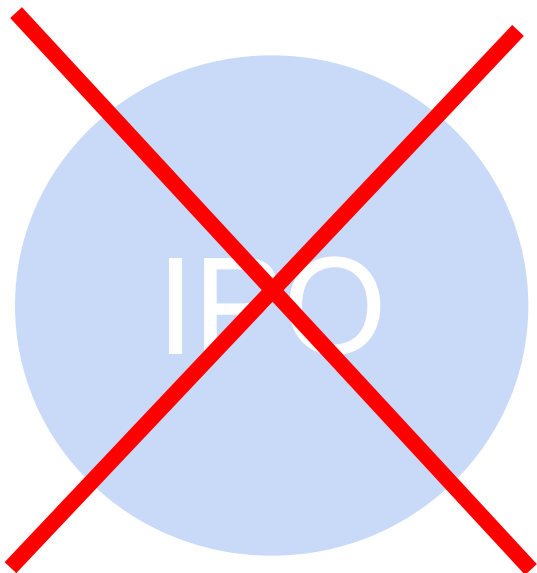
「クリプトプロトコルは分散コミュニティとステークホルダーによりガバナンスされます。それは単純に効率がいいとかイデオロギー的に重要だという理由ではなくて、プロトコルが誰に対してもオープンであり続け単一の組織が操作をできないというコアなバリューを維持し続けるために必要なのです。」 Jeffrey Amico a16z crypto

「プロトコルが誰に対してもオープンであり続け」、「単一の組織が操作をできない」というコアバリューを保ち続けるにはどうしたらいいか？

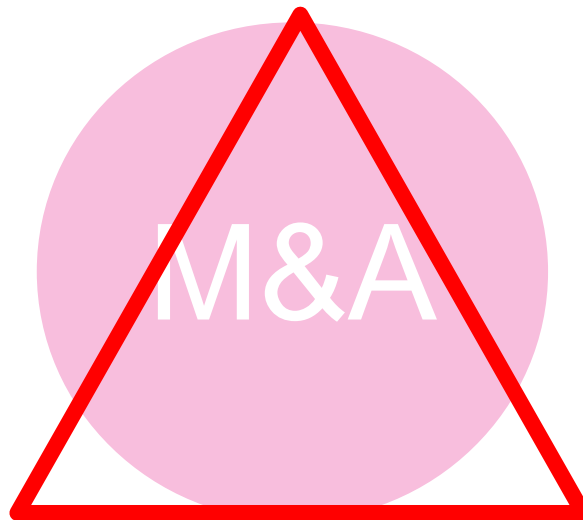


PLASM

会社の初め方



OR



PLASM

会社の初め方

そもそもどこを目指すのか？



渡辺創太 (Stake Technologies)

@Sota_Web3



周りのスタートアップがほぼ100%上場やM&Aを目指しているなかで、ガバナンストークンによる完璧なDAOを作った上でのExitって既存金融市場における強烈なアンチテーゼになると思うし歴史上、誰も歩んだことのない道だと思うんですよね。そしてこれはブロックチェーンだからこそできることではないかと

午後10:10 · 2020年10月16日 · Twitter for iPhone



PLASM

会社の初め方

日本発のパブリックブロックチェーンが世界のパブリックブロックチェーンになる日。



日本発のパブリックブロックチェーンが世界のパブリックブロックチェーンになる日。

♡ 33



Sota Watanabe / 渡辺創太

2021/02/10 18:59

...

会社の初め方(key Takeaways)

- Bitcoinが既存金融市場の「外側」で生まれている
- 当初みんなが目指してたのは自立分散の世界観(多くの企業が現実との間で妥協する)
- FacebookはFacebook社がないと動かなくなります。AmazonはAmazon社がないと動きません。Googleもそうです。Plasm NetworkはStake Technologiesが存在しなくても自立分散的に動きます
- パブリックブロックチェーンをやりながら自分達自身が「単一障害点」になるとモヤモヤするのでDAO(自立分散組織)を目指そう



PLASM

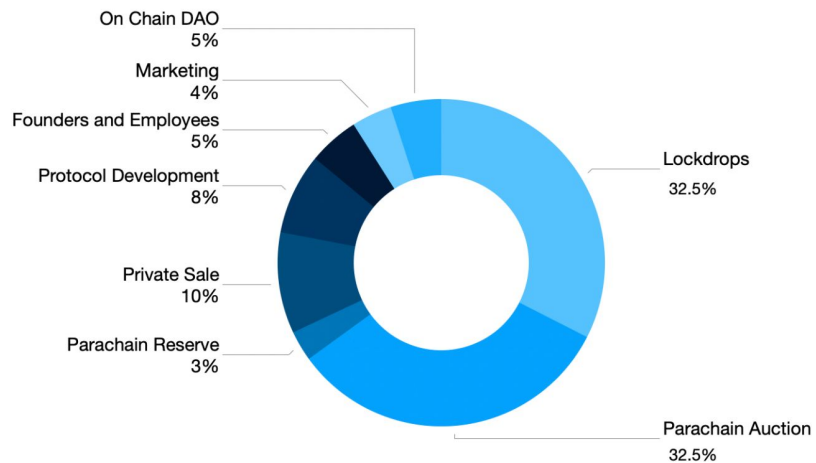
トークン設計

- 株式と同様に一度決めると引き戻せないパート
- 一方でベストプラクティスはいまだ存在していないため、プロジェクトの裁量で決まる
 - チームや投資家の配分をめちゃくちゃ多くしているケースもまちまち
 - 最近では”Fair Launch”という公平なトークン配布によるローンチも注目を集めている
- Plasm Networkの場合、65%がコミュニティ、35%がPlasmの財団機能に配分
 - 比較的かなり公平なトークン配分
- ほぼ全てのプロジェクトが限定的に投資家にディスカウントを付けてトークンを配布。その後コミュニティに配布している。Plasm Networkは先にコミュニティーに32.5%を配布
- プロジェクトの裁量で配分が決まるためかなり創業者の哲学が反映される。我々は DAOを目指しているのでフェアな要素が多め。機関投資家に対して有利に配布をしていない

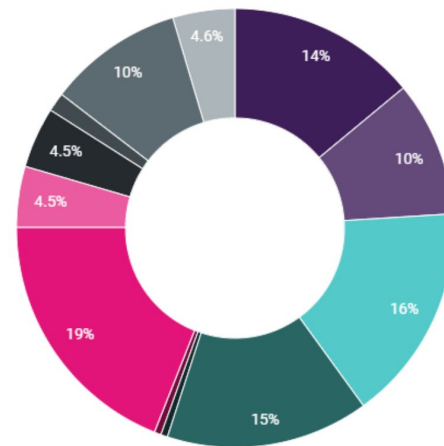


PLASM

トークン設計



- Seed Funding
- Strategic Sale
- Public Sale
- Parachain Bond Funding
- Parachain Bond Reserve
- Treasury
- Long-Term Protocol & Ecosystem Development
- Developer Adoption Program
- Key Partners & Advisors
- PureStake Noteholders
- Founders and Early Employees
- Future Employee Incentives



PLASM

資金調達

オプション	例
株式	Coinbase
株式からのガバナンストークンへの変換	Compound, Uniswap
SAFT	Filecoin, Acala
クラウドファンディング	BlockStack



資金調達

- **DO**
 - P8, P9のメカニズムの設計
 - プロジェクト/会社としてのビジネスモデルの理解
 - その上で、P20のどのスキームが良いかの検討
 - 弁護士、税理士等の専門家に相談してください
 - Code enough talks. (コードを書く)
- **DON'T**
 - GitHubコードなしに期待値だけで資金調達をする
 - 煽った文言を使う
 - リターンを確約する



プロダクト機能開発

- トークンのユーティリティと密に設計してシナジーがあるようにする
- パブリックブロックチェーンの領域は「ALL ABOUT NETWORK EFFECT」なので、フルオープン・ソースで問題ない
- 数カ月後に必要になる機能をトレンドから逆算して布石を打っていく(Plasm の場合、ZK Rollups)
- コミュニティのメンバーが参加しやすいようにタスクの切り分けとトレジャリー機能の整備(Plasm の場合、DApps Staking)

The screenshot shows the GitHub profile for Plasm Network. The profile header includes the PLASM logo, the name "Plasm Network", and a description: "DApps hub on Polkadot that supports layer2 solutions like Rollups." It also lists the location as Singapore and provides links to the website (https://plasmnet.io) and Twitter (@Plasm_Network).

Navigation tabs include Repositories (15), Packages, People (11), Teams, Projects, and Settings. A search bar is present with the text "Find a repository...".

The repository list shows the following items:

- Plasm**: The Scaling DApps Platform on Polkadot using Plasma and State Channel. Language: Rust. License: GPL-3.0. 38 forks, 193 stars, 21 issues (1 needs help), 4 watchers. Updated 2 days ago.
- frontier**: Forked from PureStake/frontier. Ethereum compatibility layer for Substrate. Language: Rust. 60 forks, 0 stars, 0 issues, 0 watchers. Updated 4 days ago.
- plasm-apps-vue**: The front-end application for Plasm Network. Language: TypeScript. 1 fork, 0 stars, 4 issues, 0 watchers. Updated 4 days ago.
- plasmdocs**: Plasm projects Introduction pages. Language: CSS. 11 forks, 11 stars, 2 issues (1 needs help), 5 watchers. Updated 5 days ago.

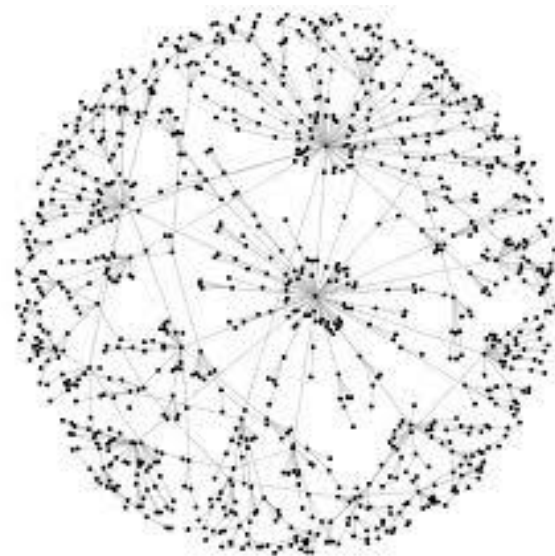
On the right side, there are two panels: "Top languages" showing TypeScript, Rust, JavaScript, Dart, and CSS; and "People" showing 11 contributors with their profile pictures and a button to "Invite someone".



PLASM

ネットワーク

- **パブリックブロックチェーンはネットワークエフェクトが全て!**
 - 開発者のネットワークエフェクト
 - 開発者ツール
 - インフラツール
 - 開発がしやすいから開発者が集まりその結果、開発しやすいツールが作られる
 - ユーザーのネットワークエフェクト
 - ユーザーがいるから流動性が提供され、その結果、流動性が増えることでユーザーが参加する(DEXなど)
 - 系全体のネットワークエフェクト
 - プロトコルが魅力的だからその上のアプリ層に資金があつまりその結果プロトコルの開発が加速する



PLASM

まとめ

まとめ

- 黒船になろう
 - 海外で勝って日本に戻す
 - 次の「ペリー」がアメリカ人である必要はない
- Twitterで文句いうのではなく結果を出すことで日本を変えていこう
- パブリックブロックチェーンの価値の創出方法を考えよう
- パブリックブロックチェーンが未来なのでこの領域で勝負する日本人を増やしていきたい





2021

Plasm Network